

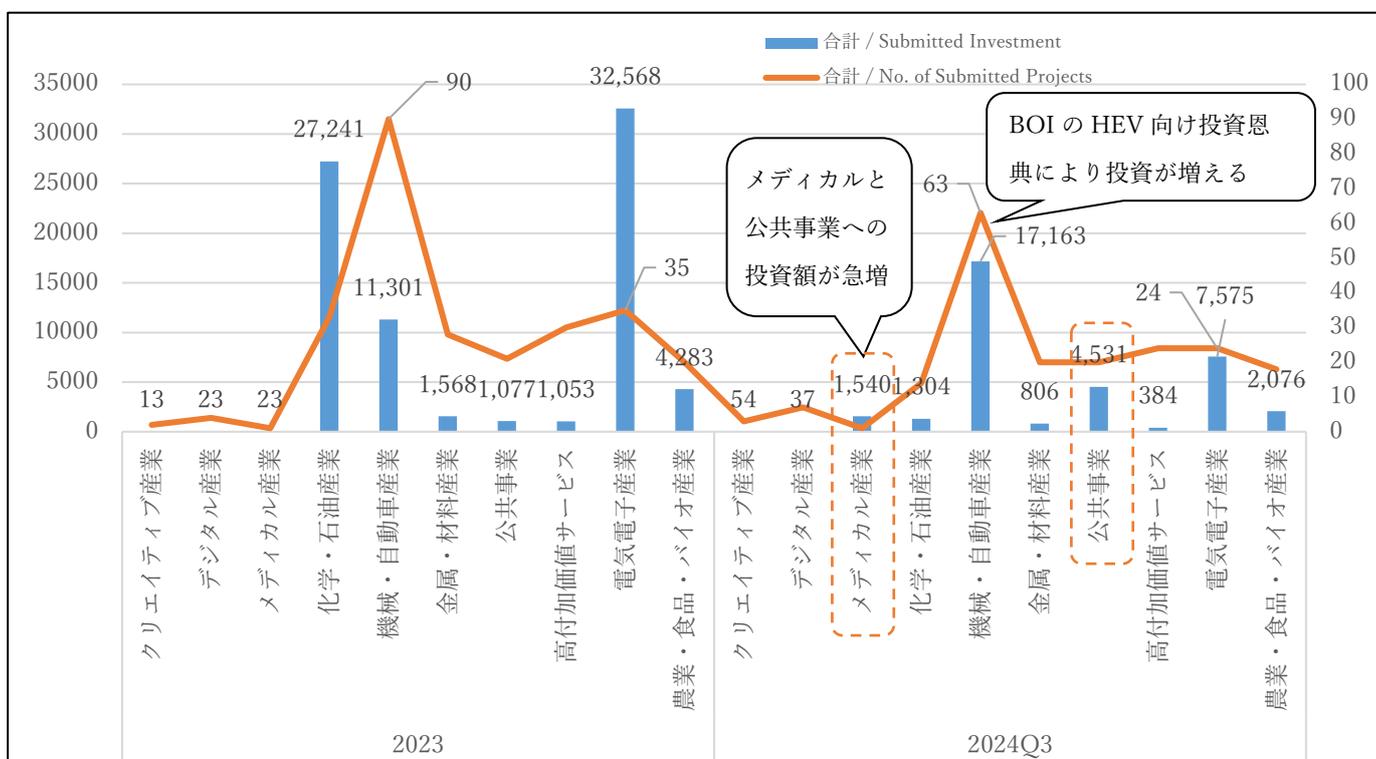
# タイ経済指標斜め読み

(2024年11月版)

ビジネスサポート部  
加藤義人  
kato@mat.co.th

## 1. 【データ：投資額】

タイ投資委員会は、2024年Q3（1-9月）の投資額を発表した。下記は、日本からの投資申請件数と投資申請額を2023年と比較したものとなる。（投資額単位：100万THB）

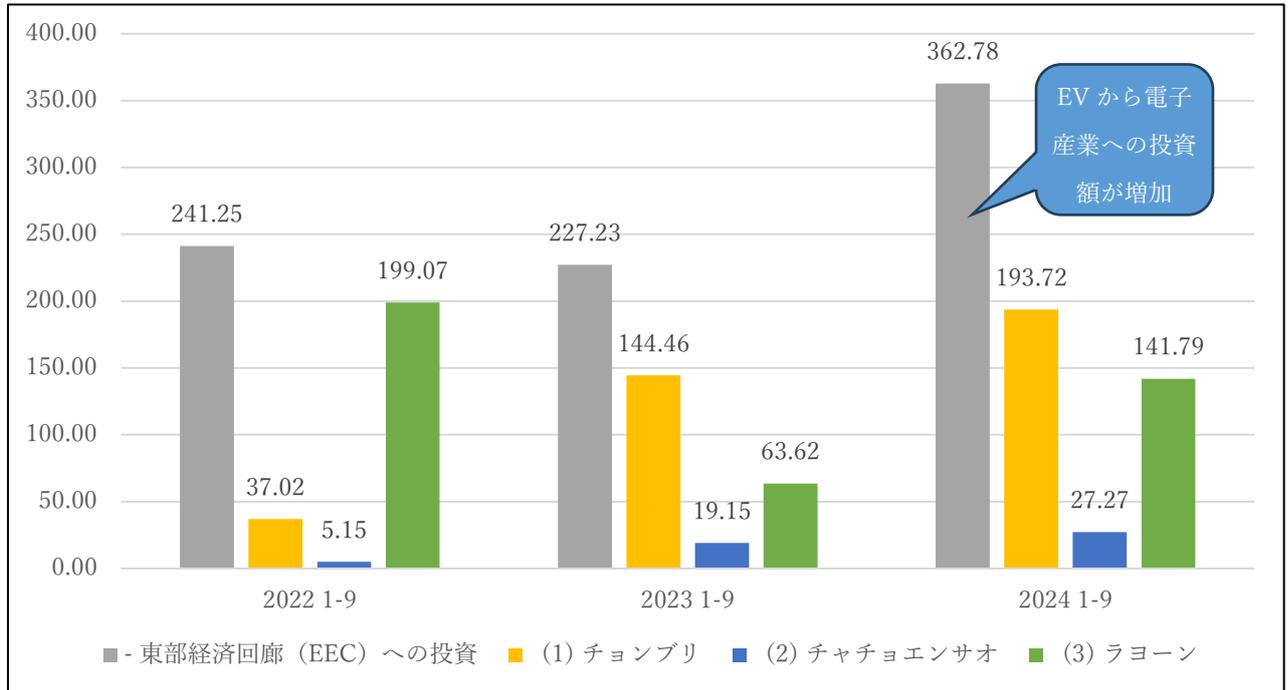


2024年Q3の日本からの投資で最大は「機械・自動車産業」への投資申請で63件、同申請額は172億THBとなった。次に多かったのは「電気電子産業」への投資で24件、投資申請額は76億THBとなった。電気電子関連への投資が2023年中に一巡して今期は低調に終わった。一方、自動車に関しては、BOIがHEV製造への投資特典を設けたことにより、投資額が倍増となった。しかしながら、昨年比では全体的に低調な投資内容となった。一方、クリエイティブ産業、デジタル産業、メディカル産業、公共事業などへの投資申請額が増加していることが見て取れる。特にメディカル産業は既に2023年の投資申請額である2,300万THBから15億THBに急増している。今後は、これらの分野への投資が増えてくものと思われる。

出所：<https://www.boi.go.th/>

## 2. 【データ：投資額】

タイ投資委員会（BOI）は、2024年の1－9月までの投資申請額を発表した。下記は、EEC三県（チョンブリ、チャチェンサオ、ラヨン）への投資申請額を2022年から比較したグラフを表示。（単位：10億THB）

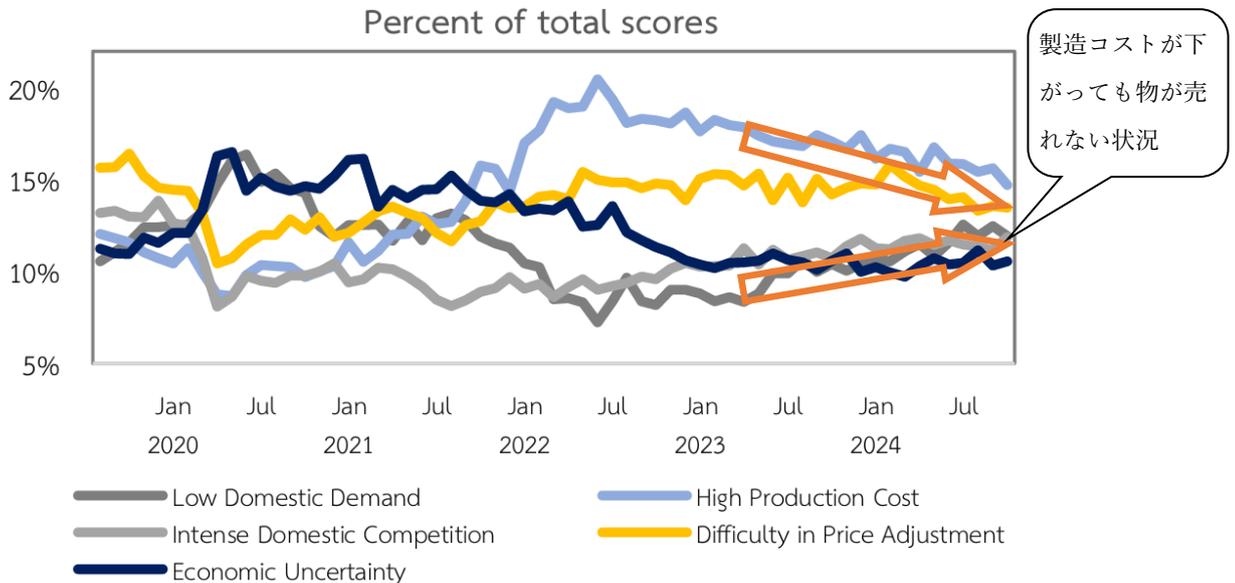


2024年1－9月までのEECへの投資額（10億THB）は、3,628億THBとなり、過去二年と比較し1,000億THB以上増加した。おそらくEEC地域への投資申請額では、過去最大だと思われる。投資額の最大はチョンブリ県で1,937億THB、ラヨン県が1,418億THB、チャチェンサオ県が273億THBと続いた。この3県に関しては、EV関連、電子関連への投資が集中している。EV関連投資に関しての大口投資は昨年が最大で本年は同関連部品への小口投資があるが、本年中に一段落すると思われる。今後はエレクトロニクスなどの電子関連産業への投資が増加していくものと予想される。

出所：<https://www.boi.go.th/>

### 3. 【調査：ビジネス上の障害】

タイ中央銀行（BOT）は、10月のビジネス上の障害に関する調査結果を発表した。調査は、タイの大中企業695社から得たものとなる。



同月の調査結果だが、前月と変わらず「製造コスト高」がトップとなり、「価格調整の難しさ」、「需要の低下」、「国内競争の激化」、「経済の不安定さ」が続いた。順位こそ変わらないが、上位2組は下降傾向を辿るが、下位3組は徐々に上昇傾向を辿っているのが見て取れる。依然、経済状況が回復しておらず、物が売れない状況が続いている。

出所：<https://www.bot.or.th/>

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2024 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。